

序 文

日本国政府は、フィリピン共和国政府の要請に基づき、同国の電力構造改革のためのエネルギー省キャパシティビルディング開発調査を行うことを決定し、独立行政法人国際協力機構がこの調査を実施しました。

当機構は、2002年11月から2004年1月までの間、5回にわたり中部電力株式会社の水野明久氏を団長とし、同社と株式会社三菱総合研究所から構成される調査団及び株式会社野村総合研究所、財団法人電力中央研究所の技術審査団員を現地に派遣しました。

調査団は、フィリピン国政府関係者と協議を行うとともに、現地調査を実施し、帰国後の国内作業を経て、ここに本報告書完成の運びとなりました。

この報告書が、同国の電力セクター改革に寄与するとともに、両国の友好親善の一層の発展に役立つことを願うものです。

終わりに、調査にご協力とご支援をいただいた関係各位に対し、心から感謝申し上げます。

2004年2月

独立行政法人国際協力機構
理事 伊沢 正